

愛知アクセラレートフィールド®活動報告会 2019 開催レポート



活動報告会を開催！

2019年11月18日（月）に「愛知アクセラレートフィールド®活動報告会 2019」を名古屋大学で開催致しました。本報告会は、官民連携の新しい取組である「愛知アクセラレートフィールド®」が取組開始から1年経過したのを機に、具体的な活動内容や成果を外部に発信し、より一層この活動が活発化することを目的として開催致しました。

報告会の参加申し込み開始からわずか2週間ほどで定員に達し、当日は建設業関係者だけでなくIT系や製品メーカーの方など、様々な業種の**109名**の方にご参加頂きました。

愛知アクセラレートフィールド®とは

愛知アクセラレートフィールド®は、愛知県道路公社が管理し、愛知道路コンセッション(株)が運営している愛知有料道路を実証フィールドとし、オープンイノベーションにより募集した新技術の実証実験を行う取り組みのことで、本取組は、2018年8月から開始され、2018年度は13件の現場実証を実施しました。

名古屋大学中村教授による特別講演

インフラメンテナンスの第一人者である名古屋大学の中村教授に特別講演をいただき、日本の人口増減、江戸時代の永代橋がコンセッション方式にて運営されていた事例など用いて、幅広い視点からイン

フラの維持管理のための「ヒト・モノ・コト」についてご講演いただきました。愛知アクセラレートフィールド®の取り組みに対しても、技術の実証にとどまらず、社会実装を目標に置くことの重要性や技術革新はコスト削減だけではなく安全が第一であるべきであることの示唆をいただきました。

【特別講演】インフラメンテナンスでのヒト・モノ・コト:

国立大学法人名古屋大学 大学院工学研究科教授 中村 光



実証実験結果を5社が発表

実際に現場実証を行った企業の中から5社（東芝インフラシステムズ(株)、(株)ズームスケープ、(株)IHI、(株)アウトソーシングテクノロジー、ソフトバンク(株)）にご登壇いただきました。供用中のインフラ（愛知有料道路）で実験を行うことによって得られた課題や成果について発表して頂きました。また、質疑応答の時間も設け技術の内容や取り組み状況の詳細など活発な議論が行われました。

最後には愛知県道路公社の市川理事長より全体の講評を頂きました。

「路面異常を市販ビデオカメラ映像から自動抽出する技術」

東芝インフラシステムズ(株) 熊倉様



「遠方から橋を撮影するだけでの簡単低コストな画像診断技術」

(株)ズームスケープ 小野様



「三次元レーザーレーダによる
逆走車両検知技術」

(株)IHI 石川様



「見渡すだけで3D化(未来の道路維持管理)」

(株)アウトソーシングテクノロジー
土居様、デイビッド・レム様



「5Gの多数同時接続を活用した実証実験
～スマートハイウェイ～」

ソフトバンク(株) 田島様



「閉会の挨拶」

愛知県道路公社 市川理事長



意見交換会

報告会後には同大学内の「レストラン花の木」で意見交換会を行い、**76名**の方にご参加頂きました。講演会では聞けなかったことなど、時間の許す限り活発な議論が交わされていました。

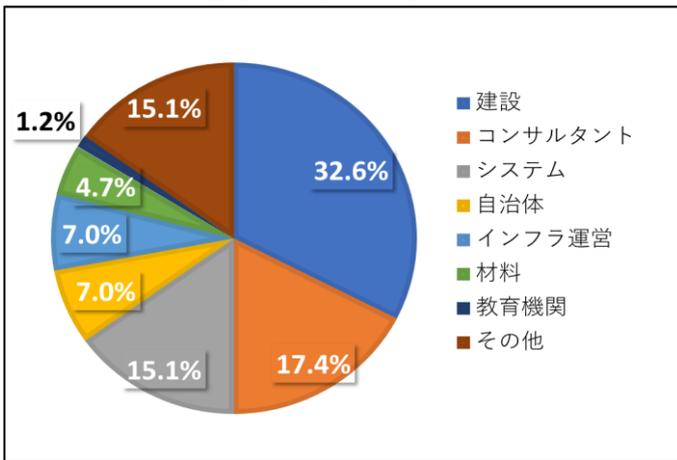


アンケート結果

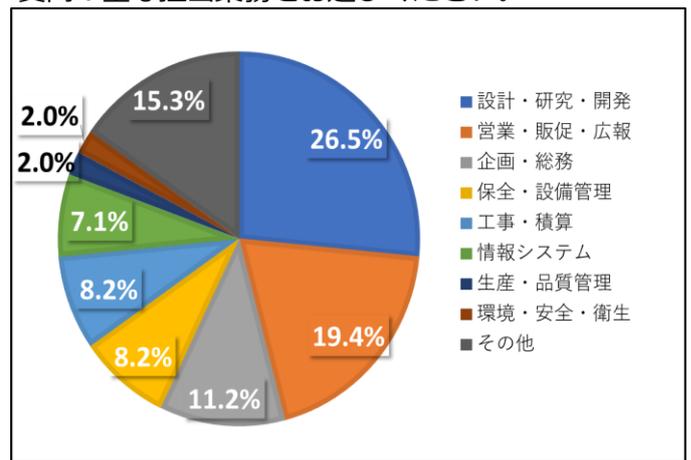
(アンケート回答：回収率 78.9%)

アンケートの結果、様々な業界の方にご参加いただけました事が分かりました。幅広い分野に関心のある方が多く、今後の愛知アクセラレート®の募集課題を設定する際には、多角的な視点からインフラ運営の課題を掘り出していく必要があると改めて感じました。

質問：主な業種をお選びください。



質問：主な担当業務をお選びください。



質問：あなたの今後の動向に関心のある分野をお選びください。

